

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	第9期 第2回所沢市廃棄物減量等推進審議会
開 催 日 時	平成30年11月13日(火)午後2時から午後4時まで
開 催 場 所	所沢市役所 高層棟 6階 604会議室
出 席 者 の 氏 名	審議会委員 秋元 智子、久下 紀世、長沼 浩、若山 芳男、高柳 倫子、 齋藤 操、岡野 祥平、前久保 当子、福田 すゞ子
欠 席 者 の 氏 名	審議会委員 深野 元行、宮崎 貴代子
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	
議 題	(1) 所沢市災害廃棄物処理計画の策定について (2) 所沢市一般廃棄物処理基本計画の部分改訂について (3) その他
会 議 資 料	(1) 次第 (2) 委員名簿 (3) 所沢市廃棄物減量等推進審議会開催等スケジュール (4) 所沢市廃棄物減量等推進審議会資料(資料1～6) (5) 【参考資料】所沢市のごみ処理の現況 (6) 埼玉県災害廃棄物処理指針
担 当 部 課 名	環境ｸﾘｰﾝ部 部長 廣川 澄芳 環境ｸﾘｰﾝ部次長 一井 里映 資源循環推進課 課長 池田 淳 主幹 森澤 律昭 主査 佐藤 克範 主査 加藤 秀一 主査 桑名 慎一郎 主査 石井 宏和 主任 新井 一也 主任 井口 徳之 主任 田中 綾華 リサイクルふれあい館長 金子 敦 東部ｸﾘｰﾝセンター所長兼西部ｸﾘｰﾝセンター所長 栗原 祐治 東部ｸﾘｰﾝセンター管理課長兼副所長 川原 利和 東部ｸﾘｰﾝセンター施設課長 古澤 祐晴 東部ｸﾘｰﾝセンター施設課主任 江口 正晃 東部ｸﾘｰﾝセンター収集事務所長兼西部ｸﾘｰﾝセンター収集課長 當摩 卓 西部ｸﾘｰﾝセンター管理課長兼副所長 大野 義彦 西部ｸﾘｰﾝセンター施設課長 遠山 秀仁 電話 環境ｸﾘｰﾝ部資源循環推進課 04-2998-9146

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
資源循環推進課 主査	<p>次のとおり説明があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○出席委員が過半数に達し、会議が成立している。 ○会議は原則公開とし、傍聴を認める。 ○進行は、深野会長欠席のため、秋元副会長にお願いする。
副会長	秋元副会長から挨拶があった。
資源循環推進課 主査	配布資料の確認が行われた。
資源循環推進課 課長	<p>今後の審議会スケジュールおよび本日の次第について、説明が行われた。</p> <p>引き続き、議事（１）に入った。</p>
委託業者担当	<p>配布資料 1 について説明があった。</p> <p>資料 1 「災害廃棄物処理計画について」</p>
資源循環推進課 主任	<p>配布資料 2 について説明があった。</p> <p>資料 2 「埼玉県災害廃棄物処理指針と所沢市災害廃棄物処理計画の比較イメージ」</p> <p>埼玉県災害廃棄物処理指針</p>
副会長	<p>これから所沢市災害廃棄物処理計画を策定していくということです。この間の熊本地震では、熊本市が計画を策定していたため、非常にスムーズに処理ができたという話も聞いています。ぜひ所沢市でも計画を作って、スムーズに処理ができるようにお願いしたいと思います。皆さん、ご意見やご質問はありますか。</p>
委員	<p>大規模災害は、近い将来必ずおこると考えられます。ですから、できるだけ早く計画を策定する必要があると思っています。</p>
委員	<p>大規模災害が絶対には限らない時代ですから、心の準備を</p>

委員	<p>していきたいと思っています。</p> <p>災害廃棄物の流れで、最終的な部分は処理・処分になります。所沢市の場合ですと、東西クリーンセンターになります。今回の資料の中の平時の備えというところで、強靱化という言葉が出てきました。最終的な受け皿の強靱化を日々進めておくということが、廃棄物処理の流れを滞らせない最大のポイントではないかと思って、聞いておりました。</p>
委員	<p>災害時は、事業系・家庭系といったごみの区別は難しいと思います。そういった点が明確に書かれていれば良いと思います。</p>
委員	<p>備えあれば憂いなしということで、できるだけしっかりと計画を立てるのはもちろんですが、いざ実行するにあたっては、市民の皆様から理解を得られるよう、広報活動も必要だと思いました。</p>
委員	<p>たくさん出た災害廃棄物をすぐに家の外に出してしまうと、人命救助や、ごみの搬入・搬出をする車が通れなくなってしまうので、道路を確保しないことには、それらを迅速に行うことができません。</p> <p>行政を待ってなくても、市民が迅速に動ける状態にしたいが、広報等での確に指示していただけるのでしょうか。また、重機を動かす業者は、あらかじめ決まっているのでしょうか。</p>
委員	<p>災害に備えていても、電気や水道が止まれば、冷蔵庫に入っているものは全部腐ってしまうので、そういう時にどうすれば良いのかと考えてしまいます。なるべく早めに水道や電気を復旧できるようにしていただけたら良いと思います。1日でも早ければ冷蔵庫に蓄えたものも腐らないと思いますし、多めに買って置いて結局腐ってしまったら、それこそごみを増やす原因になってしまうので、災害時には、復旧作業に力を振り絞っていただきたいです。</p> <p>ごみ置き場についても、場所の問題があるとは思いますが、種別に分けて処理できたら良いと思います。</p>
委員	<p>仮置き場を2か所用意されていて、かなりの面積を確保できそうな見込みとのこと。ただ、廃棄物部局で使おうと思っていたら、</p>

委員	<p>実は国や自衛隊が使うということで、直前になって仮置き場として使えなくなってしまうといったことがよくあります。他の用途で使う人がいないのか、事前に調整をしていただくと非常に安全かと思えます。さらに、周辺にお住まいの住民の方々との調整も必要になってくるかと思えますので、もしそういったところをまだ行っていないければ、お願いしたいと思えます。</p> <p>また、他の委員からもご指摘があったのですが、仮置き場で重機を使える人がいるのか、どこが管理するのか、ということも必ず問題になります。市役所で重機を持っていればそれを稼働すれば良いのですが、よくあるパターンとしては、県と連携の上、調整をして、産廃業者等に仮置き場に入っていただくといったことが被災地では一般的に行われています。埼玉県の実害廃棄物処理指針の中でも、関係団体等との調整というのはいたるところに書かれていますので、その調整もやっていただくと非常に良いと思えます。</p> <p>最後にもう1点、資料2の5ページで、環境対策班が災害廃棄物処理の対応にあたりと説明があったのですが、これはだいたい何人ぐらいの規模感なのでしょうか。もしその規模感で十分でないのであれば、他部局からの人員支援、埼玉県からの人員派遣など、使えるリソースを見直ししておくということも必要なのではないかと思えます。</p> <p>先ほど、ライフラインの復旧を早くしてほしいというお話がありましたけども、阪神淡路大震災では、電気の復旧を急いだために、火災が非常に多く発生しました。災害が発生しますと、例えば、電気の配線が断線をしたり、電熱のヒーターが絶縁をしたりします。そのため、安全点検をしないで通電してしまうと、火災が発生してしまいます。ガス設備も同様でして、1軒1軒全て点検をしてからでないと、ガスを供給するにあたって危険性があります。災害発生時には、やはり念には念を入れてやっていかないと、2次災害がおきることがありますので、参考までに申し上げます。</p> <p>また、災害が発生すると、各家庭のごみを自宅の前に出したり、道路に置いたりして、救急車等の通行の妨げになる可能性があります。仮置き場を市内に2か所考えていますが、地域ごとに小さな仮置き場のようなものを考えておいていただくと、そのような問題を回避できると思えます。</p>
----	--

委員	<p>生活ごみの中で、腐敗性の高いものが大量に出てきます。特に夏場は非常に速く腐敗していきますので、害虫の発生や疫病の蔓延といった二次災害につながる可能性があります。腐敗性の高いものを優先的に処理すべきです。</p>
委員	<p>生活ごみは、災害廃棄物という括りではなく、一般のごみとして処理をするべきです。災害がなくても生活ごみは出ますし、腐敗性の高い生ごみを災害廃棄物と混ぜてしまうと仮置き場の近くの民家から苦情が殺到します。腐敗性の高い生ごみは、絶対に災害廃棄物と混ぜないということが重要です。仮置き場のところに生活ごみを持ち込ませないためには、災害時も一般廃棄物の収集を確実にを行い、一般廃棄物と災害廃棄物の区別を普段から住民の皆様へ周知しておく必要があると思います。</p> <p>一般廃棄物と災害廃棄物が混ざってしまうと本当に大変なことになります。資料1の2ページの写真は、災害廃棄物と生活ごみが混ざっていますが、後から分けるということは不可能に近いです。</p>
委員	<p>災害時には、医療系廃棄物が、他のごみと混ざってしまうのではないかと心配です。</p>
資源循環推進課 課長	<p>縷々ご意見をいただきまして、本当にありがとうございます。</p> <p>まず、強靱化・広域化というお話をいただきました。現在、東西クリーンセンターにおいては、災害時にも止まることなくきちんと処理ができるように、長寿命化工事を進めております。</p> <p>また、ご指摘のとおり、災害廃棄物として出たものを 家庭系廃棄物なのか、事業系廃棄物なのか、区分することはできません。家庭系か事業系かに関わらず、災害廃棄物については、基本的に市の責任で処理をしなければなりませんので、計画の中でもそのことがわかるように記載したいと思います。</p> <p>次に、複数の方から広報関係のご意見をいただきました。おっしゃるとおり、事前周知が非常に重要です。災害廃棄物処理計画が策定された暁には、住民の皆様への説明・広報活動に積極的に取り組みたいと感じています。</p> <p>仮置き場に関するご意見もいただきました。現在、仮置き場については、北野運動場と北中運動場の2か所が確定していて、約10万㎡の広さです。所沢市で発生する災害廃棄物の最大発生見込み量</p>

<p>副会長</p>	<p>は約27万tです。先ほどご示唆いただきましたように、それぞれの地域でのミニ仮置き場の確保、一次仮置き場の後の二次仮置き場の確保、東部地域の仮置き場の選定といったことも、計画の中で検討していきたいと感じます。</p> <p>また、重機について、関係団体との調整をすべきというご意見もいただきました。計画策定と同時並行、もしくは策定後のタイミングで、関係団体・関連企業・事業所との協定を締結し、災害時には官民一体で処理に取り組む必要があると考えています。</p> <p>腐敗性の高いごみについてですが、生活ごみは普段通り収集運搬をしなければなりません。別途、災害廃棄物については、住民の方に仮置き場へお持ちいただくわけですが、そこでの分別を徹底したうえで、資源化を中心に処理していくという方法を計画に記載いたします。その点の広報についても行っていく必要があります。</p> <p>事務局としては、皆様からの意見を真摯に受け止めさせていただきました。今後、第3回の審議会に向けて、パブリックコメント手続き用の素案を作成してまいります。素案が、具体的な所沢市の災害廃棄物処理計画をイメージできる資料になると思っておりますので、今日いただいたご意見を踏まえまして、資料作りに務めてまいります。</p> <p>まずは、災害廃棄物処理計画に関連するご意見を皆様から頂戴できたことを大変嬉しく思います。ありがとうございます。</p> <p>仮置き場の問題というお話があったかと思えます。熊本地震の時に仮置き場が足りないというお話、東日本大震災の時に分別が非常に大変だというお話を聞きました。</p> <p>地震の話が主になっていますが、集中豪雨や台風等による床上浸水等、水害で発生する濡れた畳等の災害廃棄物の処理計画も重要ではないかと思っています。</p> <p>想定外の地震や水害といった場合は、皆さん本当にパニックになってしまいます。あくまでリサイクルとはいっても、衛生上燃やさなくてはならなくなるかもしれませんので、その時のためにもクリーンセンターの強靱化を進めてもらいたいです。また、クリーンセンターで処理しきれず、他の地域で処理してもらわなくてはならないかもしれませんので、近隣の市町村や、少し離れた市区町村との協定が非常に重要になってくると思います。また、協定を結んでいる地域で災害が発生した場合は、所沢市で処理をしなければなら</p>
------------	---

	<p>くなるかもしれませんので、その時に対応できるかどうかも計画に入れていただきたいと思います。</p> <p>引き続いて、議事（２）に入った。</p>
資源循環推進課主任	<p>一般廃棄物処理基本計画の部分改訂理由としまして、東部クリーンセンターの灰溶融炉の廃止と（仮称）第２一般廃棄物最終処分場の整備事業の進捗という２点を挙げさせていただいております。</p> <p>今回、東部クリーンセンターの灰溶融炉で生成されました溶融スラグの見本を各テーブルに置かせていただいておりますので、そちらのほうもご参考に見ていただければと思います。</p>
東部クリーンセンター施設課主任	<p>配布資料３について説明があった。</p> <p>資料３「東部クリーンセンター灰溶融炉の廃止理由について」</p>
副会長	<p>この件に関して、何かご質問はありますか。</p>
委員	<p>溶融スラグの成分について聞きたいです。</p>
東部クリーンセンター施設課主任	<p>焼却灰や飛灰の他に、溶融をしやすいするためにガラス屑等も入っております。主には、ケイ素のようなものが含まれています。</p>
副会長	<p>事務局からの説明の確認になりますが、灰溶融炉を廃止するということは、溶融スラグを作らずに、灰のまま外に出すという形になります。これにより、CO2 が 37.7%削減されるとともに、年間約３億円の費用抑制につながるのとこと、ご理解いただけましたでしょうか。</p>
資源循環推進課主任	<p>配布資料４～６について説明があった。</p> <p>資料４「所沢市のごみ焼却及び最終処分等のフロー」</p> <p>資料５「（仮称）第２一般廃棄物最終処分場の整備について」</p> <p>資料６「所沢市一般廃棄物処理基本計画部分改訂に係るごみ処理の課題について」</p>
副会長	<p>皆様のごみ減量の努力で目標値を達成しているというお話を聞きました。また、課題がいろいろと浮かび上がっていて、重点的に</p>

	<p>実施していくべきことは何か、例示いただいております。</p> <p>皆さん、ご意見やご質問はありますか。次の改訂に反映されますので、ぜひご意見をいただきたいと思います。</p>
委員	<p>もったいない市の回数をもう少し増やしていただくか、もう少し宣伝していただきたいです。古着・古布を排出するだけでなく、着られるものは着てほしい、使えるものは使ってほしい、とリサイクルが浸透できれば良いと思っています。</p>
委員	<p>リサイクルをすることによって、燃やせるごみは少なくなると思います。リサイクルふれあい館を宣伝してもらい、利用する市民が増えたら良いと感じます。</p>
委員	<p>11月24日、25日にリサイクルふれあい館でエコロ市を行うと広報に出ておりました。私も覗いてみようと思っています。</p> <p>ところで、古着・古布が資源化される流れを知りたいです。</p>
資源循環推進課 課長	<p>資源化の流れについては、いくつかのパターンがあります。</p> <p>まず、集積所に出された古着・古布は、買い取り業者に丸ごと届けます。それらを業者が手選別し、着られるもの、着られないが布として再利用できるもの、それ以外のものに分けます。さらに、着られるものの中でも、国内で再利用できるもの、国内では再利用できないが、海外であれば加工せずにそのまま再利用できるもの、といったように細分化をして資源化を図っています。</p> <p>また、市民の方から、着られる状態でリサイクルふれあい館にお持ちいただいた古着は、エコロ市等で安価で販売しております。</p> <p>さらに、春と秋に、環境推進員さんの多大なご協力のもとで実施しております、もったいない市という事業もあります。地域の方に、まちづくりセンター等へ古着を持ってきていただき、着られるものについてはその場でご覧になって、欲しい方に持って帰ってもらいます。着られないものについては、最終的に資源化業者に持っていきます。着られるけれども、持って帰ってもらえなかった古着については、リサイクルふれあい館で展示されて、欲しい方が買って行くという流れになります。</p> <p>ご指摘いただいたとおり、まだまだ周知が足りておりませんので、ぜひ取り組んでいきたいと考えております。</p>

<p>委員</p>	<p>今教えていただいたように、ごみがどのように処理されているのかを市民の皆さんにレクチャーしていただきたいです。</p> <p>さて、東京都では、ごみ袋を有料としている自治体もあるようです。所沢市でもごみ袋を有料化されたらいかがでしょうか。ごみ処理にはお金がかかるということを市民の皆さんに意識づけることによって、ごみを出さないようにしようと考えてもらうことができます。住民の皆さん自ら、ごみの減量に協力していただけるような方法を取り入れていただきたいです。</p> <p>また、東大和市では、びんや缶を袋に入れず、プラスチックのカゴにそのまま出して収集を行っており、良い方法だと感じました。</p> <p>ぜひ、近隣市町村の状況もお調べいただくようお願いいたします。</p>
<p>副会長</p>	<p>東京都内では、コンテナにごみを出すステーション方式がよくありますよね。埼玉県内では、袋にごみを入れて出す自治体が多くなっています。</p> <p>また、埼玉県内では、有料化に踏み切っている自治体はあまりないと思います。ただ、最終処分費用が高いなど、ごみの処理費用がかかるというお話もありましたので、有料化も一つの手かもしれません。</p> <p>他に何かご意見ありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>生ごみを減らすためには、水切りや、食べ残しを減らすといった取組みが重要です。ごみの減量には、市民の意識が大切であると常に感じています。</p> <p>さて、ペットボトルについて、中国や東南アジアが受け入れなくなっているのもあり、もう少し関心を持つべきだと思います。皆さんも、小学生の頃にマイボトルを持っていった経験があるかと思いますが、審議会での飲料も、委員自ら持ってくるぐらいの意識を持って、ペットボトルのごみを減らすべきだと感じます。また、そういった市民感覚を育てていけば、もっともっとごみを減らせるのではないかと思います。</p>
<p>副会長</p>	<p>最近、マイクロプラスチックで海洋が汚染されているなど、プラスチック問題も話題になっていますよね。レジ袋の有料化を検討すると環境大臣は言っています。</p>

委員	<p>集団資源回収について、数年前まではごみの集積所に出していましたが、持ち去りが非常に多いということで、私どもの町内会は自宅前でも回収できるようにしたところ、収集量がかなり増えました。</p> <p>しかし、先日、ラジオを聞いていましたら、中国の資源ごみ需要量が非常に多いということで、持ち去りが増えているとのことです。町内会でも、直近4か月の収集量が減少しました。資源ごみの持ち去りについて、警察と連携するなどして、対策をお願いいたします。</p>
委員	<p>参考資料2ページの記載のとおり、集団資源回収量が年間10,918tというのは、非常に立派な実績だと思います。集団資源回収を強化すると、リサイクルが進むと感じています。</p>
副会長	<p>ありがとうございます。他に何かありませんか。他に無いようですので、今日の審議は終了ということでよろしいでしょうか。</p> <p>皆様から良いご意見をいただきましたので、事務局でも是非ご検討いただきまして、パブリックコメント用の素案に反映していただければと思います。</p>
資源循環推進課 主査	<p>ただいま頂戴したご意見を参考にさせていただきます。パブリックコメント用の素案を作成するとともに、次回の審議会の準備を進めてまいりたいと思います。</p> <p>今回は、今回お配りしたスケジュール通り、一般廃棄物処理基本計画の部分改訂及び災害廃棄物処理計画のパブリックコメント案の審議をしていただきたいと考えております。当初の予定だった2月中の開催から、1月中の開催も視野に入れながら、正・副会長様と日程調整のうえ、ご案内を差し上げるということでご了解いただきたいと考えております。</p> <p>また、審議の関係上、事務局で作成いたします計画の素案につきましては、事前に送付させていただき、あらかじめ目を通していただくことも考えておりますので、よろしくをお願いいたします。</p>
副会長	<p>事務局に質問ですが、今回の審議会で意見を言い足りないとか、送られてきた素案に意見を言いたいとか、質問がある場合というのは、事務局に問い合わせてもよろしいものなのでしょうか。それと</p>

<p>資源循環推進課 主査</p>	<p>も、次回の審議会で受け付けるというかたちになりますか。</p> <p>早い段階でご意見をいただければ、それを踏まえたうえでのパブリックコメント用素案を作らせていただきます。</p> <p>また、素案を事前にお渡しすると言っても、お読みいただくお時間を長期間設けられるわけではありませんので、素案へのご意見につきましては、次回の審議会で承りたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
<p>副会長</p>	<p>なかなか皆さんの前で発言できなかった方がいましたら、早めに事務局にご連絡ください。</p> <p>それでは、今日の議事を終了させていただきます。ありがとうございました。事務局から何かありましたら、お願いいたします。</p>
<p>資源循環推進課 主査</p>	<p>それでは、以上をもちまして、審議会を終了させていただきます。長時間にわたり、ご審議をありがとうございました。お疲れ様でした。</p>